

## 投資事業評価調書（新規）

部課室名	農地整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	農地整備課長 板井 丈夫 (太野垣 賢治)	内線	4003  (4016)
------	-------	---------------------	-----------------------------	----	--------------------

事業種目	ほ場整備	事業名	事業区間	総事業費	約 3 億円	
		基盤整備促進事業 (担い手育成型)	砥石川地区	内用地補償費	0.1 億円	
所在地				事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
三 田 市 香 下				H 1 5	H 1 5	H 1 8
事業の目的			事業内容			
土地利用型農業のコスト低減、経営の安定強化を図るため、農地の区画形質及び道水路を整備し、機械化営農体系を確立するとともに集落営農組織への土地集積を促進する。 事業主体：砥石川地区土地改良事業共同施行			区画整理 10.4 ha  (国 50% 県 17% 市 16.5% 地元 16.5%)			
評価視点	評価結果の説明					
(1)必要性	当地区は、水稻の他大豆、ピーマン等が生産されているが、現況の農地は不整形であり、道路も狭小で未整備なため、営農効率が悪く、農業従事者にとって多大な労力が負担となっている。 このような状況の中、当該地域は総合的な地域整備計画により大きく変貌しようとしており、これらの諸計画と整合を保ちながら、ほ場整備の実施により、機械化や水管理の合理化を促進し、また担い手（集落営農組織）を育成することにより、野菜栽培の拡大を図り、農業生産性の向上と経営の安定を確保する必要がある。					
(2)有効性・効率性	投資効率 1.17、所得償還率 21.3% 投資効率が 1.0 以上であり、事業としての効果が期待できる。 同意率 100.0% 用地創設等により、地域整備計画の達成に貢献できる。					
(3)環境適合性	道路路盤材等については再生砕石等を積極的に利用する。 地区内の既設水路を一部残し、生態系に配慮した整備を付加して保全レベルの向上を図る等の環境配慮施設を設置する。					
(4)優先性	当該事業における換地処分手法により、2 級河川改修用地および市が計画している農業集落排水コンポスト施設および J A 兵庫六甲が計画する畜産公園へのアクセス市道拡幅改良用地等の創設が予定されている。					